



2019年11月15日

各 位

東京都港区海岸一丁目2番20号  
 会社名 株式会社トライステージ  
 代表者名 代表取締役社長 丸田 昭雄  
 (コード番号:2178 東証マザーズ)  
 問合せ先 社長室 鈴木 理恵  
 電話番号 03-5402-4111

2020年2月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正  
 並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

2019年7月3日に公表した2020年2月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び2020年2月期通期の業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

また、この度の元従業員による不正行為の発生及びそれに伴う決算発表の延期を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を決定いたしましたので併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 2020年2月期第2四半期累計期間（2019年3月1日～2019年8月31日）業績予想と実績値との差異

## 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,139	百万円 105	百万円 49	百万円 △85	△3円11銭
実績値 (B)	26,193	110	53	5	0円20銭
増減額 (B-A)	53	5	3	90	
増減率 (%)	0.2	4.9	7.9	-	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期第2四半期)	27,538	389	△165	△1,340	△46円02銭

## 【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,300	百万円 352	百万円 397	百万円 143	5円24銭
実績値 (B)	13,256	365	473	228	8円34銭
増減額 (B-A)	△43	13	75	84	
増減率 (%)	△0.3	3.7	18.9	59.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期第2四半期)	15,224	487	480	△1,598	△54円90銭

## 2. 2020年2月期通期（2019年3月1日～2020年2月29日）業績予想の修正

### 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 54,111	百万円 595	百万円 539	百万円 328	12円05銭
今回修正予想（B）	51,839	588	531	340	12円46銭
増減額（B－A）	△2,272	△6	△7	11	
増減率（%）	△4.2	△1.1	△1.4	3.4	
（ご参考）前期実績 （2019年2月期）	53,843	809	272	△992	△34円07銭

### 【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 27,000	百万円 811	百万円 789	百万円 413	15円15銭
今回修正予想（B）	26,000	825	934	558	20円43銭
増減額（B－A）	△1,000	13	144	144	
増減率（%）	△3.7	1.6	18.3	34.9	
（ご参考）前期実績 （2019年2月期）	29,292	1,009	923	△1,687	△57円96銭

### 3. 差異及び修正の理由

当社は現在、中期経営計画ローリングプラン2019の下、創業以来のコアコンピタンスである「ダイレクトマーケティング支援」を集中領域と定め、新たな価値基盤を創出するため、事業の選択と集中を進めております。2019年8月30日付で海外事業に属する連結子会社 JML Singapore Pte. Ltd.

（以下、JML社）の株式譲渡を実施、2019年9月1日付で株式会社日本ヘルスケアアドバイザーズの営む通販事業の事業譲渡を実施する等、事業の選択と集中は着実に進捗しております。

2019年7月3日に公表した業績予想では、業績動向及び通販事業の事業譲渡の影響を加味いたしましたが、その後、JML社の株式譲渡を決定し、当該処理を行ったことにより損失を見込んでいた第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が黒字化いたしました。また、業績動向を勘案し通期の業績予想を修正いたします。

なお、元従業員の不正行為が連結業績に与える影響は軽微であります。詳細につきましては本日公表の「2020年2月期第2四半期報告書の提出完了に関するお知らせ」をご参照ください。

#### <第2四半期連結累計期間>

売上高は、当社及びグループ各社において堅調に推移し、概ね想定どおり着地いたしました。

営業利益及び経常利益は、主にJML社で見込んでいた営業損失が減少したため、計画を上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、JML社撤退に伴い関係会社整理損172百万円を特別損失に計上したものの、当社個別の法人税計算上、JML社の株式評価損及び同社に対する貸倒引当金の損金算入が可能となったこと等により損失額が縮減し、黒字化いたしました。

<通期>

売上高は、JML社で想定していた売上高の減少及びWEB事業の売上高の伸びを慎重に見直した結果、計画を下回る見込みです。

営業利益及び経常利益は、売上高減少の影響があるものの、JML社で想定していた営業損失減少及び各種コスト削減を推進すること等により、計画値と比べ微減を想定しております。

親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期連結累計期間と同様の理由により計画を上回る見込みです。これらを踏まえ、通期の業績予想を修正いたします。

※上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 役員報酬の減額について

当社は、この度の元従業員による不正行為の発生及びそれに伴う決算発表延期を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	丸田 昭雄	: 月額基本報酬の30%減額を3か月間
取締役	辻 壮	: 月額基本報酬の20%減額を3か月間
取締役	倉田 育尚	: 月額基本報酬の20%減額を2か月間
取締役	妹尾 勲	: 月額基本報酬の10%減額を2か月間
取締役	前田 充章	: 月額基本報酬の10%減額を2か月間

(2) 開始時期

2019年12月より

以上